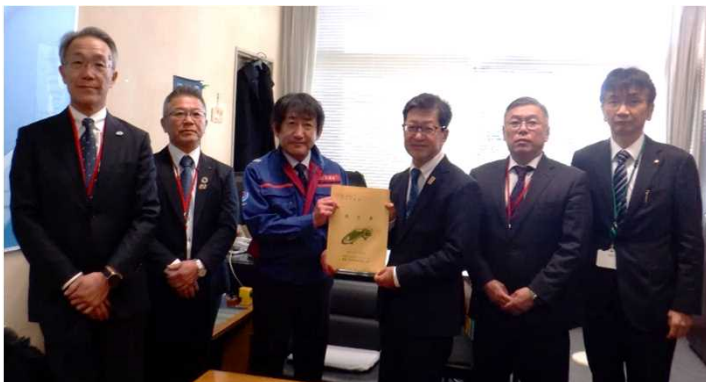


## 令和5年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 提言活動

令和6年1月29日(月)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表: 濱田省司高知県知事)が、国土交通省の丹羽道路局長と財務省の瀬戸大臣政務官に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や暫定2車線区間の4車線化、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興及び国土強靱化のための予算・財源の確保等について提言を行いました。

### ■国土交通省 丹羽克彦 道路局長への提言



▲左から、大西四国経済連合会専務理事、谷本徳島県政策監、丹羽道路局長、濱田高知県知事、岸本愛媛県参与、森岡香川県東京事務所長

#### 丹羽道路局長

- ・高規格道路は、地域経済力を高める。整備をしっかりと進めていく。
- ・能登半島地震の被害状況を見て、道路は4車線あって強靱なネットワークであることが必要だと改めて実感。四国においても丈夫な道路を早期に整備する必要がある。

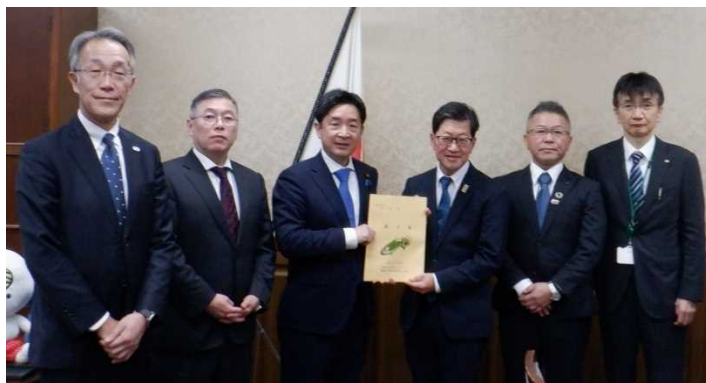
#### ●濱田高知県知事

- ・四国8の字ネットワークの早期整備は、経済対策・防災対策の両面から重要。特に、南海トラフ地震時の救援・物資輸送の面で不可欠。
- ・四国の総意として、8の字の早期整備等に向け令和6年度予算の確保及び国土強靱化5か年加速化対策後も予算・財源の確保をお願いする。

#### ●四国経済連合会会長代理 大西専務理事

- ・四国は魅力的な観光資源があるが、他地域と比べ宿泊者が少ない。要因として時間距離がかかることが挙げられる。過疎化が進む地域を観光業により活性化するためにも、早期のミッシングリンク解消が必要。

### ■財務省 瀬戸隆一 大臣政務官への提言



▲左から、大西四国経済連合会専務理事、岸本愛媛県参与、瀬戸大臣政務官、濱田高知県知事、谷本徳島県政策監、森岡香川県東京事務所長

#### ●徳島県知事代理 谷本政策監

- ・徳島南部自動車道「徳島津田IC」から「徳島JCT」の開通に合わせて整備した企業用地の地価が大きく上昇するなど、ストック効果が現われている。
- ・ミッシングリンク解消により、観光資源が豊富な県南部へのアクセス性向上にも期待。
- ・南海トラフ地震に備えるべく、早期の全線供用をお願いする。

#### ●愛媛県知事代理 岸本参与

- ・南予地方で唯一の幹線道路である国道56号は、津波浸水により「陸の孤島」化が危惧される。
- ・特産品の販路拡大、交流人口拡大や国土強靱化の面からもミッシングリンクの早期解消をお願いする。
- ・暫定2車線区間の早期4車線化もお願いする。

#### ●香川県知事代理 森岡東京事務所長

- ・全線4車線化の効果により、大型車交通量が増加。更なる向上のため、坂出北ICフル化や観音寺SICの整備を引き続きお願いする。
- ・災害時に四国の防災拠点となる本県からの迅速な支援のため8の字の早期整備が必要。



8の字推進戦隊

#### 瀬戸大臣政務官

- ・南海トラフ地震を考える上でも、8の字ネットワークの整備は非常に重要と感じている。
- ・国土強靱化のために、予算をしっかりと使っていく必要がある。

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会  
(発起人: 徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)